

2. 大学入学共通テストにおける「地理歴史」、「公民」及び「理科」の取扱い

大学入学共通テストの「地理歴史」、「公民」及び「理科」の科目は、次のように取り扱いますので、大学入学共通テストの上記教科の科目を複数受験する場合は、必ず志望する学部・学科が指定する科目を第1解答科目として受験してください。

- (1) 大学入学共通テストの「地理歴史」、「公民」及び「理科」の科目について、複数科目を受験した場合において、本学学部・学科が受験科目を1科目と指定している場合には、第1解答科目の得点を採用します。

また、本学学部・学科が指定している科目を第1解答科目で受験せずに、第2解答科目で受験した場合には、その得点は0点として取り扱います。

ただし、同一名称を含む選択できない科目を受験した場合、第2解答科目の得点は0点として取り扱わず、出願無資格とします。

(例：第1解答科目で「地理総合／歴史総合／公共」から「地理総合」及び「公共」を選択した場合、第2解答科目で「地理総合、地理探究」、「公共、倫理」または「公共、政治・経済」を受験した場合などは出願無資格とします。)

なお、地理歴史及び公民の受験科目が2科目となる受験パターンにおいて、「公共、倫理」と「公共、政治・経済」を組み合わせることはできません。

また、共創学部については、(2)のとおり取り扱います。

- (2) 共創学部の前期日程では、39ページ(注)5の4つの受験パターンのうち、いずれかの受験パターンを満たしていれば個別学力検査等を受験できます。

なお、「地理歴史」及び「公民」又は「理科」において、複数科目受験した場合の取り扱いについて、「地理歴史」及び「公民」又は「理科」の受験科目が1科目となる受験パターンでは、受験した科目のうち第1解答科目の得点を利用します。

その場合、地理歴史及び公民において、第1解答科目で「地理総合／歴史総合／公共」を受験した場合、その得点と第2解答科目の得点は0点として取り扱いますので、十分に注意してください。ただし、同一名称を含む選択できない科目を受験した場合、第2解答科目は0点として取り扱わず、出願無資格とします。

(例：第1解答科目で「地理総合／歴史総合／公共」から「地理総合」及び「公共」を選択した場合、第2解答科目で「地理総合、地理探究」、「公共、倫理」または「公共、政治・経済」を受験した場合などは出願無資格とします。)

また、地理歴史及び公民の受験科目が2科目となる受験パターンにおいて、「公共、倫理」と「公共、政治・経済」を組み合わせることはできません。

なお、複数の受験パターンを満たしている場合には、最も高得点となるパターンで選抜を行います。

- (3) 出願書類受理後に、出願無資格者であることが判明した場合は、個別学力検査等の受験はできません。この場合には、本人へ通知し、入学検定料の一部を返還します。(31ページ(5)①を参照)

※ 前期日程と後期日程では、同一学部・学科において、本学が指定している大学入学共通テストの教科・科目が異なる場合がありますので、希望する学部・学科が指定している受験教科・科目を必ず確認のうえ(39～40ページを参照)、受験してください。

- (4) 平成30年3月告示より前の高等学校学習指導要領に基づく教育課程(旧教育課程)の履修者のうち、希望する者は旧教育課程による出題科目を解答することができます。(41ページを参照)

なお、旧教育課程の履修者も、平成30年3月告示の高等学校学習指導要領に基づく教育課(新教育課程)による出題科目(39～40ページを参照)を解答することができます。

3. 選抜等の方式

一般選抜は、分離・分割方式（前期日程及び後期日程）で実施します。（ただし、共創学部、教育学部、理学部数学科、医学部、歯学部、工学部V群及び芸術工学部については、後期日程を実施しません。）
なお、本学では同一学部、異なる学部を問わず、前期日程と後期日程に併願することができます。